

# 代表・一般質問

# 区政を

## 傍聴してみませんか 区議会本会議は公開されています

ついでには、使用目的を追加し、今後は、コミュニティバスなどのバス基地等とし、事業支援と地域活性化対策を取り入れるべきと思うが、どうか。



【答】コミュニティバスの運行は、事業者の独自運行が原則である。区は、各種手続き、関係機関との調整などソフトの部分と、走行環境整備などのハードの部分で側面支援していく。

また、バス交通の充実が地域の活性化につながると考え、区有地を利用したバス事業支援については、最重要課題として検討していく。

北朝鮮の日本国民拉致事件の教育について  
【問】日本国民が主権を侵害され、北朝鮮に連れ去られたことはまぎれもない事実である。このことは一過性のこととして終わらせてはならない大事件である。拉致事件を教育現場で子どもたちに伝えていかなければならないと考える。また、「家族の大切さ、家族の思いやり、家族の絆が大切であること」も教育の現場で教えていかなければならないと思うが、どうか。

【答】新聞記事を読んだり、時事問題として取り上げたりし、人間の尊厳や国家の主権について考えさせた学校もある。日頃から社会科や道徳などに

おいて個人の尊厳や基本的人権の尊重、家族愛や愛国心、国際協調などについて指導している。今後は、家族の大切さなどの指導を充実させていく。



新井ひでお 議員

足立区の危機管理について

【問】世界一の安全大国を自負していた日本の治安は年々悪化している。犯罪の凶悪化、検挙率の低下、不法入国、不法滞在者による犯罪が増加している。警察は体制を強化し、区民の安全対策を進めるべきであるが、区としては、危機管理室を設置するとしている。危機管理室の機能と体制の仕組みや考え方を示されたい。

【答】危機管理室は、平成15年4月に設置を予定している。現在、危機管理に関する資料の収集、調査、先進自治体の状況把握等を行っている。

今後は、現行の本部体制を速やかに危機管理室に一元化し、危機対応マニュアルの作成、職員意識改革を図っていく。各学校横並び予算配分の見直しについて

【問】開かれた学校づくり協議会との協働のもと特色ある学校づくりが行われていると期待するが、学校と地域が一体となって成果を上げている学校については、それに見合った財政支援が必要であると考え。従来の各学校横並びでない予算配分を見直す考えはないか。

【答】今後は、従来の各学校への予算配分形態を基本としなが

ら、指摘の趣旨に沿った新たな支援形態を新年度予算に向けて実現していきたいと考える。中教審の中間報告の評価と国を愛する心の育成について

【問】中教審での中間報告では、日本の「伝統、文化を尊重し、郷土や国を愛する心を持つことが重要」とし、「家庭教育に関する規定」を新たに設けている。教育のあり方は、国民一人ひとりの生き方や幸せに直結し、国や社会の発展の基礎となるものである。今般の中間報告への評価と健全な郷土意識や国家意識の育成について考えを聞く。



【答】今回の中間報告では、現行法の理念を大切にしながら足りない部分を補う考えに立っている。その中には、家庭に関する規定などがある。家庭の教育力が低下していると言われる現在、「家庭の責任と役割」や「学校・家庭・地域の連携の重要性」を明らかにしていることは、重

分評価できるものと考えている。(仮称)六町駅周辺のまちづくりについての提案



吉岡 茂 議員

【問】我が党は、毎年、つくばエクスプレスの(仮称)六町駅を単なる通過駅にしないよう魅

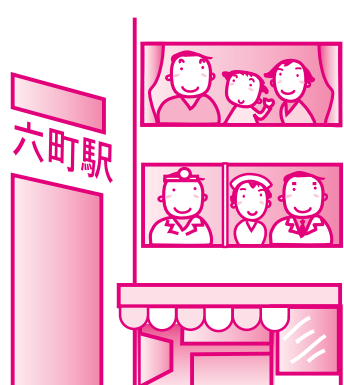
力あるまちづくりをと、区に要望している。つくばエクスプレスの開業は財政難を緩和するビッグチャンスである。このチャンスを活かして(仮称)六町駅周辺のまちづくりについて提案する。

複合商業施設の1階には、出店希望の地元の商店が入り、2階には企業や店舗を誘致し、地元はもちろんだ地域の方からも親しまれるような商業施設の充実を図ることで地域産業経済の活性化につながるものと考えている。

3階はメディカルフロアとし、内科、耳鼻咽喉科、歯科、眼科等の開業医に入ってもらいたい。

このことにより、六町周辺の方々、つくばエクスプレスを利用する方々からも便利で安心な駅として活用してもらえればと思います。

4階以上を住宅層とする。2・2・2住宅プランとして建設された西綾瀬のマンションは、募集と同時に多世代の方たちからの問い合わせや応募が殺到し、完売したと聞く。つくばエクスプレスの魅力は、都心まで15分で行ける利便性である。通勤、通学、買い物に出かける方に六町に住むことにより、ゆとりと快適さを実感してもらえればと思うが、どうか。



【答】複合商業施設用地は、

駅前立地しており、地域や交通機関利用者のみでなく、広く区内外からの利用が見込まれ、施設の活用範囲は多岐にわたるものと考えている。

店舗等の商業施設のほか、公共施設など、地区住民の意見と要望を踏まえ、十分な検討を行っていく。

## 足立区議会公明党



杉崎せいじ 議員

区の財政はどう改善されたのか

【問】鈴木区政は、まさに厳しい財政状況の中からのスタートであったが、区長を先頭に全職員の努力により平成13年度決算は5年ぶりに黒字になった。吉田共産区政時代の赤字財政を3年かけて黒字にしたのである。共産党の方々は「区は赤字と言っているが、実は黒字である」と間違った区財政黒字論を展開しているが、再度正しく、区の財政がどう改善されたのか、また、財政再建の公約達成の見通しはどうか、伺う。

【答】平成13年度決算において、実質単年度収支は5年ぶりに赤字を解消し、20億円の黒字となった。また、経常収支比率も70%台となり、残る目標である120億円の財源不足の解消についても、15年度予算編成の中で概ね達成する見込みである。しかし、一部にはあたかも区財政に余裕があるような情報が流れ、区民を惑わしている。今後も一層、財

政に関する情報を正確に提供していく所存である。

中心として、地域の産業経済の活性化を担い、地区住民にとっても生活を支える施設であることが重要である。提案の、住民の健康と安心を提供するメディカルフロアや駅に直結する共同住宅、情報や文化を発信するコミュニティ施設など、今後の計画策定にあたって参考にした

【問】これまで足立区は、行政改革や民間委託制度など、常に先進的な自治体経営を進めてきた。東京都内という枠に埋没しがちな23区の中で、足立区が目指す全国トップレベルの区政透明度、全国レベルの行政実績、行政情報、足立発として全国の自治体に発信できる仕組みと、そうした取り組みを開始すべきと考えるが、伺う。

【答】このことは、「区民等の参加と協働の働きかけ」の実現のため、また当区が存在を内外にアピールするためにも重要であると思っている。現在、区政透明度の増進のための方策等を検討しているところである。

【問】特別養護老人ホームの入所は、2、3年待ちの状況である。次期介護保険事業計画では、整備目標を約360床増やしたが、千住地域などは、民間が建設しようにも空き地がない。このような地域は、区が保有する土地の活用を考えていくべきではな

いと考えている。